

# 日本の 基礎生命科学の 源流と未来

日時 2018年11月28日(水)11:30～12:45

会場 パシフィコ横浜  
会議センター3階301  
(第2会場)



●司会  
**山本 卓**  
(広島大学大学院理学研究科)



●イントロダクション  
**木村 宏**  
(東京工業大学科学技術創成研究院)  
「日本の基礎研究の源流を訪ねて」



●話題提供  
**石野 良純**  
(九州大学農学研究院)  
「CRISPRの発見」

●聴衆参加型ディスカッション  
with石野良純先生&キャリアパス委員



井関 祥子  
(医科歯科大)



末生(道下) 江利子  
(第一三共)



斉藤 典子  
(がん研)



小林 武彦  
(委員長/東大)

今年に故・岡崎令治氏の岡崎フラグメント発見から50周年となります。この50年で分子生物学はどのように発展し、今後どのような方向に向かっていくのでしょうか。本ランチョンセミナーでは、日本の分子生物学の源流から、遺伝子操作技術を利用した分子生物学の発展、そして、ゲノム編集技術による今後の飛躍的発展、さらにはAIを駆使した新しい生物学などを展望します。“すぐに役にたつ”とはかぎらない、基礎研究の底力を体感する場となることをめざします。

※参加者の皆様にご自身のスマートフォン・タブレット端末等から専用サイトへアクセスしていただき、ご意見を会場のスクリーンにリアルタイム表示する「クワイアアナライズシステム」を導入します。

※ランチョンセミナーの事前予約ならびに当日の整理券配布については第41回年会ウェブサイトよりご確認ください。

